

【5】 都城地区小学校体育連盟 (学校数 42 校、児童数 11,376 人)

I 年間事業について

期 日	曜	会 名 等	主 な 内 容	会 場
6 月 1 2 日	金	教科主任会	役員改選、研究推進	明和小学校
8 月 5 日	水	第 1 回常任理事会	研究推進、各学校における陸上記録検討	明和小学校
1 0 月 1 3 日	火	第 2 回常任理事会	研究推進	早水公園体育文化センター
1 1 月 5 日	木	第 3 回常任理事会	研究推進 (都城市・三股町地区合同教育研究会打ち合わせ)	早水公園体育文化センター
1 2 月 6 日	金	都城市・三股町地区合同教育研究会	次年度学校体育研究発表大会に向けた準備 (研究推進・班別研究会)	明和小学校
2 月 1 6 日	火	第 3 回常任理事会	年間反省、次年度の方向性	早水公園体育文化センター
3 月 2 日	火	第 6 回理事会	年間反省、次年度の方向性	早水公園体育文化センター

II 事業部のあゆみ

1 各学校による陸上記録測定 (9～11月)

- (1) 対 象 小学6年生
- (2) 実施種目 50mH ソフトボール投げ

III 研究部のあゆみ

1 研究主題及び副題

進んで運動に親しみ、楽しさを味わう体育科学習の在り方
～動きの高まりを意識した体づくり運動の学習を通して～

2 主題設定の理由

新学習指導要領の改訂のポイントとして、運動や健康についての自他の課題を発見し、その解決に向けて思考・判断し、他者に伝える力を養うことが重要であることが取り上げられている。特に、「運動に親しむ資質や能力」については、運動への関心や自ら運動をする意欲、仲間と仲良く運動すること、各種の運動の楽しさや喜びを味わえるよう自ら考えたり、工夫したりする能力、運動の技能などを指していて、これらの基礎を確実に育成していかなければならない。そのためには、児童の能力・適性・興味・関心などに応じて、運動の楽しさや喜びを味わい、自ら考えたり、工夫したりしながら運動の課題を解決する等の学習が重要である。

また、本地区の教員に対してアンケートを実施したところ、「体づくり運動」の指導の在り方についての研究を行いたいという意見が多かったことから、「体づくり運動」の学習を中心に、進んで運動に親しみ、楽しさを味わう体育科学習の在り方について研究を進めてきた。

研究1年目は新学習指導要領の改訂のポイントの見直し及び方向性の検討を行った。2年目は研究授業を通して、進んで運動に親しむことや楽しさを感じるための具現化を図ってきている。

研究3年目となる本年度は、コロナ禍における研究や体育科学習の在り方について検討しながら、「単元構成図」や「動きの系統表」の作成を通して、動きの高まりを意識した体づくり運動の学習の在り方について研究していく。

以上のことから、授業の中で課題解決の方法を児童が主体的に考え、自らの伸びを実感することで、児童が成就感や達成感を味わい、運動の楽しさや魅力を感じることができると考え、本主題を設定した。

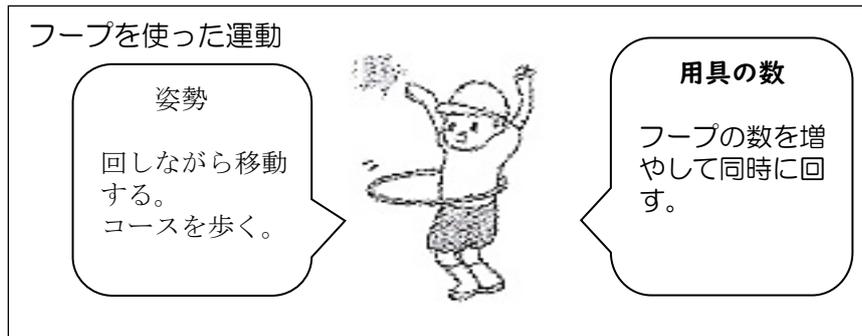
イ 動き方の視覚化(令和元年度実践)

「分かる楽しさ」を味わうために、板書やワークシートを工夫する。何がどのようにになっているからできたのかを分析できるように、体の部位に着目するようにした。板書やワークシートには、「足・膝…曲げる」「手首…回す」など、動きのポイントを細かく示すことができるようにする。

② 楽しさを味わうための工夫

ア 運動条件の工夫

用具や人数などの条件を変えることで、運動の楽しさや面白さも変わってくる。運動条件を変えて、様々な動きができるように、新学習指導要領に記載されている動きを基に条件を例示した表を作成した。



【図2：運動条件の変化の例】

件の変化の

例】

イ 動きの高まりを実感できる手立て

児童が「伸びる楽しさ」を実感できるように、それぞれの学年でどのような動きを身に付けなければならないのかを明確にする必要がある。そこで、体づくり運動の系統表を整理し、児童が学習で活用する「基の動き」チェック表を作成した。【図3】「基となる動き」を意識するとともに、自分の動きの高まりを実感することにもつながると考える。

体をいどうさせる	② よこやうしろ、ななめに走ったり、ジグザグや細い道を走ったりすることができた。	はじめてできた日：()月()日 じょうずにできた日()月()日
	③ りょう足やかた足で、いろいろなどび方でとんだり、空中で向きをかえてとんだりすることができた。	②のうごき ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ はじめてできた日：()月()日 じょうずにできた日()月()日
		③のうごき ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ はじめてできた日：()月()日

【図3：「基の動き」チェック表】

(2) 運動の日常化や指導方法の工夫につながる情報発信の在り方

情報や資料(指導計画やワークシート等)を共有するために、サーバーの活用やホームページの開設について検討している。